

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 30分

法 規 （ 1 ）

〔1〕 次の記述は、電波法の目的を述べたものである。
□ 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「この法律は、電波の公平かつ □ な利用を確保することによって、公共の福祉を増進することを目的とする。」

1. 経済的
2. 能動的
3. 能率的
4. 積極的

〔2〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときはどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を返納する。
2. 発見した日から10日以内にその旨を届け出る。
3. 発見した日から10日以内に発見した免許証を返納する。
4. 発見した免許証を速やかに廃棄する。

〔3〕 無線局の免許人が電波法に違反したときに総務大臣から受けることがある処分はどれか。次のうちから選べ。

1. 期間を定めて通信事項を制限される。
2. 期間を定めて空中線電力を制限される。
3. 期間を定めて使用する電波の型式を制限される。
4. 再免許を拒否される。

〔4〕 無線局の臨時検査（電波法第73条第4項の検査）において検査されることがあるものはどれか。次のうちから選べ。

1. 無線従事者の勤務状況
2. 無線従事者の業務経歴
3. 無線従事者の知識及び技能
4. 無線従事者の資格及び員数

〔5〕 無線局の免許がその効力を失ったときに免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 1箇月以内に返納する。
2. 適当な時期に返送する。
3. 直ちに廃棄する。
4. 2年間保管する。

〔6〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、その免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

国内電信級陸上特殊無線技士試験問題

法 規 (2)

〔7〕 無線局を運用する場合において、遭難通信を行う場合を除き、識別信号(呼出符号、呼出名称等をいう。)は、どの書類に記載されたところによらなければならないか。次のうちから選べ。

1. 無線局免許申請書
2. 無線局事項書
3. 免許状
4. 免許証

〔8〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に規定されているものはどれか。次のうちから選べ。

1. 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。
2. 無線通信は、有線通信を利用することができないときに限り行うものとする。
3. 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
4. 無線通信を行う場合においては、略符号以外の用語を使用してはならない。

〔9〕 非常の場合の無線通信において、無線電信により連絡を設定するための呼出しは、次のどれによって行うことになっているか。

1. 呼出事項に「OSO」1回を前置する。
2. 呼出事項に「OSO」3回を前置する。
3. 呼出事項の次に「OSO」2回を送信する。
4. 呼出事項の次に「OSO」3回を送信する。

〔10〕 無線電信通信において、「ラタ」を使用する場合は、次のうちのどれか。

1. 通報の送信が終わったとき。
2. 通信が終了したとき。
3. 周波数の変更を完了したとき。
4. 通報がないことを通知しようとするとき。

〔11〕 無線電信通信の手送りによる和文の通報の送信速度の標準は、1分間について何字と規定されているか。無線局運用規則の規定に照らし、次のうちから選べ。

1. 85字
2. 75字
3. 60字
4. 50字

〔12〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定である。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、□に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. すべての無線局
2. すべての相手方
3. 総務大臣が告示する無線局
4. 特定の相手方